

ひまわり



第21回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 新庄すが江 様

- 2 ▶ 3 秋のフェスタ開催
- 4 たっぷく日本語学科入学式
第21回福祉の絵手紙受賞作品決定
- 5 連載vol.69 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 福寿園ニュース
- 10 ▶ 11 家族会だより
- 11 たぶトピ
- 12 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 施設長・管理者のリレーコラム
 - 4コマまんが フクちゃん

178号

令和6年11月10日

秋のフェスタ開催



みなみ福寿園

みなみフェスタ 2024



10月20日「みなみフェスタ2024」が晴天に恵まれ秋の過ごしやすい陽気の中、盛大に開催されました。芝生広場では、末野原中学校和太鼓部による演奏、豊田大谷高等学校吹奏楽部による演奏に酔いしれ地域の方々と交流を図ることができました。午後からは、福寿園をはぐくむ会(未来(のぞみ))主催の小学生を対象とした「福祉の心」絵手紙表彰式を行い、太田市長等から表彰を受け思い出に残る式典となりました。

また、特別ショーとして、黒木じゅんさんによるムード



歌謡を聴くことができ会場も盛大に盛り上がることができました。今後も地域の方との交流を大切に地域に根付いた施設を目指します。



田原福寿園

野外フェス 2024

さわやかな秋晴れに恵まれた10月14日、福寿園野外フェス2024が開催されました。芝生広場の野外ステージでは、巫女演舞やたっぷく児童クラブ&学生のダンスステージ、柳田はるかさん&サインパフォーマーあきさんによるパフォーマンスショー、田原中学校吹奏楽部の演奏に続き、黒木じゅんさんによる歌謡ショーが開催されました。黒木さんの情熱的な歌声に観客席は拍手や歓声で大盛り上がりでした。また、飲食バザー等の各コーナーも盛況でした。特に福祉体験スタンプラリーでは、多くの

子供たちが参加して、認知症の気持ちを知るVR体験や視覚障がい者の世界を体感するアイマスク体験等を通して、人を思いやる福祉の心を育む貴重な機会になったのではないかと思います。多くの地域の皆さんにご来場いただき、たくさんの笑顔が飛び交う本当に楽しい秋の一日になりました。

園野外フェス2024



くすのきの里

第3回 くすフェス

第3回 くすフェス2024

～笑顔でつなぐ くすのきの輪～



10月27日、第3回くすフェスが開催されました。「福祉の心」絵手紙の表彰式では、多くの応募の中から受賞された11名の小学生に、武豊町長をはじめご来賓の皆様から各賞が贈呈されました。表彰式の後は、日本福祉大学付属高等学校の太鼓部「楽鼓」の和太鼓演奏で式典を締め切りました。総勢24名の生徒による迫力ある演奏に心打たれました。

式典後は、屋外の飲食バザー・ゲームコーナーも賑わい、餅投げには多くの方が参加されました。

くすフェス最後は、安倍里種子さんの歌謡ショーが行われ、大ヒット曲「今夜は離さない」では、武豊町長とのデュエットで会場を盛り上げていただき、観客からの拍手と歓声であふれました。

5年ぶりの大きなイベントでしたが、利用者家族、地域の方も多く参加してくださり、たくさん笑顔が見られた楽しい秋の思い出となりました。





令和6年度10月期日本語学科入学式

田原福祉グローバル専門学校

10月1日に田原福祉グローバル専門学校令和6年度10月期日本語学科の入学式が行われました。今回の入学式ではミャンマー(14名)、インドネシア(8名)、ベトナム(3名)の計25名の留学生を迎えられることができました。

石川校長からは色々な人と交流を深め

地域の行事なども体験し、日本への理解を深め、それぞれ介護福祉士、特定技能実習生と異なるが、介護を目指す者同士協力して次のステージへ羽ばたいてほしいと式辞をいただき、古田理事長からは、各国の言葉での挨拶の後、本校へ入学してくれたことへの感謝とともに、

将来は福祉人材において大きな役割を担ってほしいという激励もいただきました。新入生の代表のモンさんは、将来は自国で介護施設を開きたいという夢を語り、そのための努力は惜しまないと力強く誓いの言葉を話してくれました。

現在、田原福祉グローバル専門学校では、介護福祉学科、日本語学科合わせて総勢75名の留学生が在籍することとなりました。

それぞれがモンさんのように志しを持ち、アルバイトも勉強も頑張っています。新入生が日本になじめるように、在校生を含め、その志している夢に一步でも近づけるように、職員一同サポートをしていきます。

第21回福祉の絵手紙受賞作品決定

第21回福祉の絵手紙作品募集では、816点もの心あたたまる作品をご応募いただき、ありがとうございました。多数の応募作品の中から厳選なる審査の結果、最優秀賞、理事長賞など、12点の作品が選ばれました。受賞作品は以下のとおりです。その他入選作品は、福寿園ホームページにてご覧いただけます。

また、今号より受賞作品を表紙に飾らせていただきます。今回は最優秀賞の新庄すが江様の作品です。

《優秀賞》森下 啓子様



《優秀賞》市川 元子様



《優秀賞》向井 喜八様



《優秀賞》細川 美恵様



《理事長賞》上野 美和様

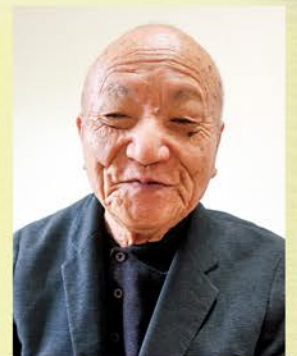


《最優秀賞》新庄すが江様

連載 69

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



たけみち
中村 剛陸さん
(養護盲福寿園)

プロフィール

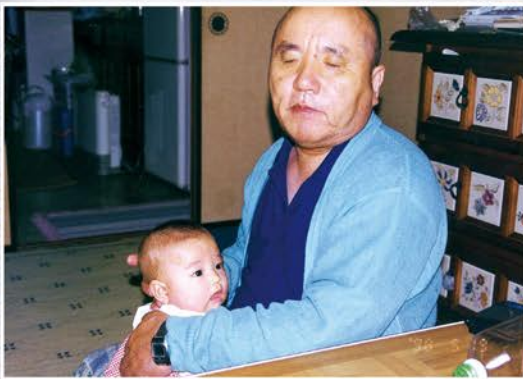
生年月日：昭和17年7月12日
出身：身：豊橋市
趣味：カラオケ、英語数学の勉強

私は昭和17年7月12日豊橋市老津町に生まれました。兄が一人、姉が三人いて、真ん中の姉と私は生まれつき視覚障害者でした。子供の頃は光の明るさがわかる程度の全盲だったので、生活をしていく中で物がどこにあるのかわからなく、物にぶつかり怪我が絶えないことが一番の苦勞でした。そんな苦勞の中でも嬉しいこともたくさんあります。特に思い出深いのは、目が見えないからと諦めていた自転車を手を借りながら初めて乗せてもらい走った時は、それまでに味わったことのない風を切る爽快感が気持ち良く、今でも忘れられない出来事でした。

その後、昭和25年から39年まで盲学校に通っていましたが、学校に行くまでも私達視覚障害者には大変なことでした。電車の乗り降り、道を歩くのも一



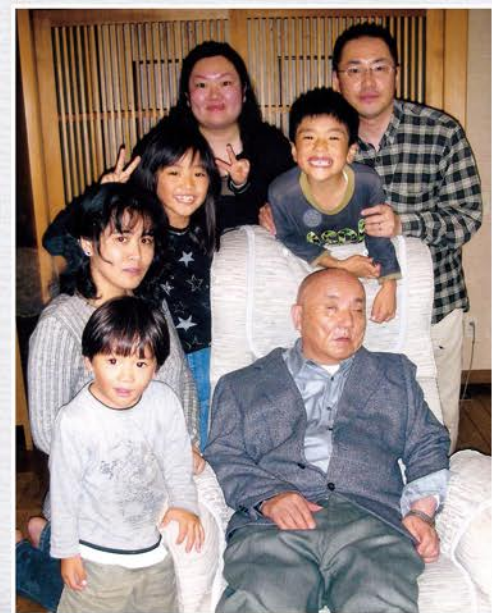
松本城に姉と旅行



初孫と一緒に

人では行けないので、いつも登下校時には家族の付き添いが必要でした。台風時には電話がなかったものから連絡が取れなくて先生に送迎してもらったこともありました。盲学校卒業後はあん摩師の資格を取得し、一年間は奉公としてマッサージのお店で働きました。一年後、同居していた姉が豊橋駅の近くでマッサージのお店を開業し、私も一緒に働くことになりました。その頃の豊橋駅はまだ戦争の焼け跡が残

り、今とは全然違う風景でした。往診をする際には、タクシーを利用しながら行っていました。その頃はまだ車も少なく、移動には苦勞しましたが、施術をした後に「身体が楽になった」とお客さんから言ってもらえるのは嬉しかったです。



親族一同で伊豆長岡温泉へ旅行

ですし、やりがいのある仕事だと思えました。25歳の時に障害者の会へ参加した際、一人の女性に出会い結婚しました。子宝にも恵まれ双子の息子を授かりました。子育ては大変でしたが、母や兄、姉達のカも借りながらすくすく成長する姿に大

いに元気づけられたものです。昭和50年には一人でお店を開き、移転後も有難いことに順調に仕事をすることができました。この養護盲老人ホームに入るまで視覚障害者として苦勞したことはたくさんありました。それでもこの歳まで無事に生きてこられたのは、周りの人の支えがあったことが大きいと思います。支えて下さった方達に感謝し、もしできる時にはマッサージをしたりと少しでも恩返しができると思います。



ケアハウスパシフィック 蝶を呼ぶ！フジバカマ

なにやら珍しい蝶々の訪れがありました。秋の七草のひとつでもある「フジバカマ」と呼ばれる植物を好んでやってきた「アサギマダラ」です。美しい羽根を広げ、優雅に羽ばたいています。

こちらの魅力ある看板はアサギマダラが飛来してきてくれるように願いを入れて作った、入居者と職員との共同作業によるものです。「蝶々が飛んでいる！」と、噂を聞いて入居者の皆さんも興味津々にアサギマダラを見に来ています。普段見られない蝶々を見ることができて、嬉しく感動する入居者の笑顔がありました。

ひまわりの街 レッツポッチャー!

10月15日、スポーツの秋ということでポッチャ大会を開催しました。ポッチャを知っている人、知らない人も興味津々で、白熱した試合を繰り広げられました。皆さん、ジャックボールめがけて、あの手この手で様々な工夫を凝らしながらカラーボールを投げてみました。ひまわりの街から



始まる健康ライフをスローガンに、これからも様々な取り組みに挑戦していきたいと思えます!

ケアハウスきぬうら ハロウィン喫茶開催です!

喫茶クラブにて、ハロウィン喫茶を開催しました。入居者の方にハロウィンの小物を身に付けてもらい、楽しんでいただくという企画です。

最初は恥ずかしそうでしたが、「それ似合ってるわよ」「これも付けたらどう?」など入居者同士で盛り上がり、笑顔も見られるようになりました。美味しいケーキをいただく頃には、皆さんすっかり慣れたようでした。



楽しい雰囲気の中、行うことができました。今後入居者の方が楽しんで参加できる企画作りをしていきたいと思えます。

木田の里 第三者評価の受審

木田の里就労継続支援センターA型・B型、児童発達支援事業きだっこ、放課後等デイサービスきだっこ

の4事業は、福祉サービス第三者評価を受審しました。第三者評価は、サービスの質を公正・中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価する事業で、自己評価・利用者の意向の把握・書面調査・訪問調査・評価結果のとりまとめと公表というプロセスで行



などを通してサービスの質の向上が図られています。障害福祉サービスではこのような取り組みが不足していません。障害福祉サービス事業でも、この第三者評価を受審することで、介護保険事業同様にサービスの質の向上に努めていきたいと考えています。

武豊福寿園デイサービス

曜日対抗運動会

読書の秋、食欲の秋…。秋にもいろいろありますが、武豊デイサービスではスポーツの秋にちなんで曜日対抗運動会を開催しました。

玉入れ、大玉送り、輸送りの3種目をそれぞれの曜日で競います。優勝した曜日の皆さんには特別スイーツが振舞われると知ると、皆さん大張り切り！どの競技も白熱していました。競技が終わり「童心に帰ることができて楽し



田原福寿園デイサービス
出発進行！歴史調査隊

猛暑も和らぎ始めた9月の半ば、利用者の皆さんと田原



かった！」と笑顔とお声をいただきました。笑顔あふれる素敵な秋の一週間となりました。

市博物館へお出かけをしました。田原市博物館では「開業100周年渥美線展」を開催しており、利用者の皆さんは、懐かしい鉄道風景の写真や鉄道型模型、歴史を刻んできた電車部品などの展示をキラキラと目を輝かせながら眺めていました。「出発進行！」車掌気分と思わず声が出そうな豊橋鉄道渥美線の前で記念撮影。若かりし頃のそれぞれの思い出がよみがえってくる秋の一日となりました。

グループホームちた福寿の里

今年も開催!!夏の思い出、花火大会

8月に企画していた花火大会が、コロナウイルス感染症流行のため延期となりました。ですが、9月末にご家族を招待して花火大会を無事開催することができました。天候にも恵まれ、涼しくなってきた時期に開催ができました。多くの打ち上げ花火や手持ち花火をご利用者、ご家族のみなさんが楽しまれ、ご利用者の中には、とても喜ばれる方もいらっしやいました。「綺麗だね」や「夏だね」「凄い」と感動される方もみえました。夏最後にご家族を含め、ご利用者および思い出を作ることができました。



花の里

娘からの絵手紙

10月で105歳の誕生日を迎えられた大島ヤス子さん。娘さんから定期的に絵手紙が届き、合計340通にもなりました。絵手紙に描かれる果物や花に季節の移ろいを感じ、利用者さん同士のコミュニケーションのタネにもなっています。また、旅行先での写真を貼ったりと近況を報告する



内容に、ヤス子さんは目を細め、嬉しそうにご覧になっています。

みなみ福寿園ショートステイ
ぶどう狩りしやいました!

秋の味覚の代表「ぶどう狩り」を開催しました。施設内に職員がぶどう農園を手作りして、座ったまま収穫ができる高さにぶどうをぶら下げ、

大きく実ったぶどうを一生懸命に摘み取り、その場で味わう喜びを皆で楽しみました。施設の中でのイベントでしたが、利用者には喜びと笑顔を届けることができました。

すべての利用者が参加できるように工夫しました。「外に行かなくてもぶどう狩りを楽しめるなんて、来て良かったわあ」と、皆さん笑顔で話されていました。



昭和の里デイサービス

そがみまごさんコンサート

少しずつ秋の風が吹き始める頃、はるばる熊本阿蘇から、童謡歌手のそがみまごさんが来園されました。とても美しい歌声に、皆さんうっとり。美しいのは声だけでなく、お顔立ちも。思いやりある心も美しく、そこにいる全員がすぐにと



りこになってしまいました。今回のコンサートは、福祉用具のキングラムが企画してくださいました。最後はみまごさんに上手にのせられつつ、職員全員がステージへ。会場が一つの和になり、記憶に残る素敵なコンサートとなりました。

豊田福寿園

四郷小学校交流会

10月1日、四郷小学校5年生55名が来園し、交流会を行いました。「老人ホームってどんなところ？」という紙芝居を使い、介護や食事、リハビリのことなどを、介護士や管理栄養士、理学療法士など各専門職からの話を交えながら伝えました。次に児童は園内を見学し、「紙芝居と同じお風呂だ！」「いろいろな絵が飾ってある！」など色々な発見をしていました。入居者の皆さんとの交流では、なかなか話し出せない子もいましたが、地域のボランティアさん



に助けてもらいながら、和やかな交流会となりました。

田原ゆの里

花火鑑賞ビアガーデン

日中降り続いた雨の影響で、1階エントランスホールにてビアガーデンが開かれました。ご利用者はビール片手にあい福の里の大きな椎茸を



食べながら、飲食バザーをご家族と一緒に楽しみました。飲食バザーを楽しんだ後は、玄関前や屋上に行き、花火鑑賞の始まりです。「きれいだね、めったに見られないからいいね」と皆さんとても喜ばれている様子でした。昨年は最後に突然の大雨に降られてしまいましたが、今年は最後まで花火を楽しむことができました。とても心地の良い涼しい風で夏の終わりを感しました。ご家族の皆さんご参加いただきありがとうございます。来年は屋上でビアガーデンと花火鑑賞ができることを楽しみにしています。

ひまわり邸

健康チェックで自分を知ろう

豊田市健康づくり応援課・明治安田生命さんのご協力をいただき、職員の健康チェックを行いました。体



脂肪量や筋肉量などの体成分の測定や、野菜の摂取量の測定をしました。自分の健康を知る機会と健康アドバイスをいただきましたので、職員がより健康に働けるように努めていきます。

くすのきの里ショートステイ

真っ赤に鮮やかな彼岸花

半田市はごんぎつねで有名な新美南吉のふるさとでもあります。毎年彼岸花がきれいに咲くので、彼岸花を見にお出かけしました。少し時期が遅めでしたが、まだまだきれいに咲き、色鮮やかです。彼岸花といえど赤のイメージですが、白い彼岸花も咲いており「白い彼岸花は初めて見た。きれいだね」とにこやかにお話しも弾みます。風もあり、とても気持ちの良いお出かけになりました。キレイなお花を見ると自然に笑顔になりますね。



養護盲福寿園

はじめてのゲートボール

秋になっても暑さはまだまだ続きますが、日頃の運動不足やストレス



を解消するため、参加者を募り身障者ミニレスポ大会に参加しました。カラオケで好きな曲を元氣よく歌ったり、輪投げやゲートボール、じゃけん大会等様々なバリエーションのレクリエーションを行いました。入所者の中にはゲートボールを初めて経験する方もみえ、狙いを定めて打ったボールが上手に転がっていき、高得点を取れたことに喜ばれていました。帰りには景品のお菓子袋を片手に、皆さん笑顔で話され、リフレッシュできた様子でした。

を解消するため、参加者を募り身障者ミニレスポ大会に参加しました。カラオケで好きな曲を元氣よく歌ったり、輪投げやゲートボール、じゃけん大会等様々なバリエーションのレクリエーションを行いました。入所者の中にはゲートボールを初めて経験する方もみえ、狙いを定めて打ったボールが上手に転がっていき、高得点を取れたことに喜ばれていました。帰りには景品のお菓子袋を片手に、皆さん笑顔で話され、リフレッシュできた様子でした。

東海福寿園養護

えびせんパークにいきました

10月2日に養護老人ホームの入所5名、実習生3名、職員2名で



美浜町にあるえびせんパークへ遠足に行きました。はじめに魚魚魚(ぎょぎょぎょ)という新鮮な魚介が楽しめるお店で昼食を食べました。大きなエビフライや海鮮丼など「美味しーいね!」こんなの初めて食べたわ」と、大変喜んでいただけました。えびせんパークでは海の幸を使って、自分だけの姿焼きせんべいを作りました。大きな鉄板に具材を乗せて、いざ「べったん」自分の顔より大きな姿焼きに皆さんの素敵な笑顔がこぼれていました。最後に、えびせんべいのおみやげも購入して、大満足な一日になりました。

渥美福寿園

アロハ!!

入居者ご家族が行っているフラダンスチームの皆さんが来園され、小さい子から大人まで綺麗なドレス、レイを着用し、フラダンスを披露してくださいました。また、お菓子で作ったレイをプレゼントしてもらい、入居者も「嬉しい」、「とても綺麗」と大喜びさ



れていました。途中では、みんなが踊れるフラダンスを教えてもらいながら一緒にダンスを行い「楽しかった」「またやりたい」と涙ぐむ入居者もいました。渥美福寿園がハワイアンに染まり、とてもアロハな時間を過ごすことができました。フラダンスチームの皆さん、ありがとうございました。

木田の里相談支援センターの開設

令和6年10月1日に、木田の里では8つ目の事業である木田の里相談支援センターが開設しました。相談支援センターでは、障害福祉サービスを利用する方の支援計画を作成する「特定相談支援」と障害児通所支援を必要としているお子さんの支援計画書を作成する「障害児相談支援」の2つの事業を行います。法人内では初めての事業ですが、介護保険事業の居宅介護支援事業所のケアマネジャーのような業務です。

現在、東海市近隣では相談支援事業所が少なく、支援を必要としている障がい者・障がい児に対して、相談支援事業者が不足しており、東海市からの要望に応じて開設することにした事業です。地域のニーズにお応えし、利用者から頼りにされる相談支援ができるよう相談支援専門員一同努めてまいります。



現在、東海市近隣では相談支援事業所が少なく、支援を必要としている障がい者・障がい児に対して、相談支援事業者が不足しており、東海市からの要望に応じて開設することにした事業です。地域のニーズにお応えし、利用者から頼りにされる相談支援ができるよう相談支援専門員一同努めてまいります。

現在、東海市近隣では相談支援事業所が少なく、支援を必要としている障がい者・障がい児に対して、相談支援事業者が不足しており、東海市からの要望に応じて開設することにした事業です。地域のニーズにお応えし、利用者から頼りにされる相談支援ができるよう相談支援専門員一同努めてまいります。

令和6年度新入職員第二次研修会

令和6年9月4日、豊田市のひまわりの街において、新入職員第二次研修会が開催されました。参加者は今年4月に入職した新入職員を中心に52名が参加しました。

この研修は、4月に実施された新入職員研修のフォローアップとして行われ、入職後半年が経過したこの時期に、仕事の目的やサービスの基本を振り返ることが目的です。



研修会は、古田理事長による「福祉をとりまく環境と中長期経営計画」についての講義から始まり、法人の幹部職員による、コミュニケーション技術、緊急時の対応、認知症ケア、リスクマネジメントといったケアの基本について講義が行われました。また、「自分を見つめる」という演習を通して、サービスやケアの本質について学びました。

参加者からは「4月以来、久しぶりに他施設の同期と再会し、みんなが頑張っている姿を見て自分も励まされた」といった感想も寄せられ、充実した一日となりました。

宮田村へりんご狩りに行ってきました

10月19日、長野県宮田村へ、法人がオーナー契約をしているりんごの木の収穫に行ってきました。当日はあいにくの天気でしたが、各地区から家族連れで32名が参加。中央アルプス駒ヶ岳のふもとに広がるりんご園で、完熟したりんごの収穫を楽しみました。収穫後は全施設で提供され、太陽の恵みをいっぱい浴びた甘いりんごを、皆で美味しくいただきました。



家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

田原福寿園

10月6日、19家族21名のご家族が施設内の草取り活動に参加してくださいました。8日後に迫る野外フェスに向けて、芝生広場周辺や施設外周の草取りを行いました。ご家族と職員が協力し、共に汗を流すことで、より絆が強くなったように感じます。まだ夏のような暑さが残る中、草取り活動に精を出していただきありがとうございます。

田原ゆの里

10月13日、16家族24名のご家族と職員で、施設内の草取りを行いました。暑い日差しの中での清掃活動でしたが、懸命に汗を流しながら作業をしてくださいました。「こっちの方がやりがいあるよ」と生い茂っていた雑草を黙々と刈る姿が印象的でした。作業後は世

ダンス教室紹介

たっぴく児童クラブ

月曜日は、ダンス教室でストリートダンスの基礎から応用までを楽しみながら習得しています。この10月には、たっぴく祭、田原福寿園野外フェス、田原市民まつりのステージで、ダンスを披露させていただきました。目標に向かって努力を積み重ねる大切さを、ダンスを通して学んでいきます。ダンス経験のない初めての方も大歓迎です。みんなで一緒にダンスを楽しみましょう!



第4回たっぴく祭

田原福祉グローバル専門学校



今年のたっぴく祭は天気にも恵まれ、250人を超える地域の方々も来校し、一緒に盛り上げてくれました。今回は民族衣装の試着体験ができるブースを作り、普段着ることができない民族衣装を着て写真を撮ったりと大賑わいでした。その他には成章高校のボランティアでタッセルストラップ作りのブースや、お茶会、展示、手浴等を楽しみ、屋外では、ベトナムのバインセオ、フィリピンのアドボ、インドネシアのミーゴレン、ミャンマーのおやつセットなど各国の伝統的な料理はもちろんのこと、たっぴく卒業生の飲食ブース、地域の皆さんの協力によるバザーなども大盛況でした。



花の里



間話や家族の話題で盛り上がっている様子でした。皆さまの協力のおかげで生い茂っていた雑草が見えるほどきれいになりました。ご家族の皆さまも協力ありがとうございました。

10月6日に東海福寿園では家族親睦会行事として清掃活動&BBQを行いました。親睦会員のみならずに参加を集い、まずは清掃活動から。普段なかなかできていないベランダの掃除をご家族と職員で一緒に行いました。終わってからはお楽しみBBQ。お肉、海鮮、野菜と汗をかけたあとのおいしい食事で親睦を深めました。参加してくださった34名の皆さま、ありがとうございました。



東海福寿園

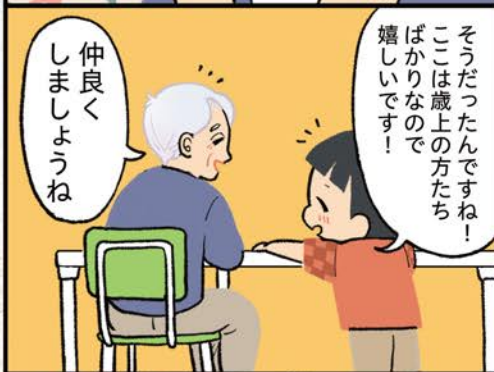
10月19日に施設内の草取りを行いました。総勢20名の方に来ていただきました。11月には花の植え替えがあるため、それまでに綺麗にすることができました。途中から雨が降りだしましたが、無事終えることができました。ご協力いただきありがとうございました。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.14

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在104名(フィリピン人66名、ベトナム人29名、インドネシア人9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A 私は名探偵コナンの大ファンで、いつか作者の故郷に行って、作者が漫画に込めた風景を観たかったからです。
- Q 働いてみてどうですか?
- A 初めは言葉が分からず不安でしたが、皆さんが理解をしてくれて、少しずつ教えていただきました。日本語だけでなく文化についても知ることができ、どんどん日本語が話せるようになりました。
- Q 好きな日本の場所はありますか?
- A 京都です。学校の旅行で一度行きましたが、新鮮な空気と絶景がとても良い印象が残っています。
- Q 休日はなにをして過ごしていますか?
- A 自宅で主人とテレビを観ながら、ベトナムの伝統的な料理を食べて、ゆっくり過ごしています。
- Q 好きな日本語はなんですか?
- A 出合いは一生に一度限り
- Q 最後に一言お願いします。
- A 話すことが好きなので、顔をみたらぜひ話しかけてください。



ファミ ティリー
ニックネーム
リー
東海福寿園
国籍:ベトナム

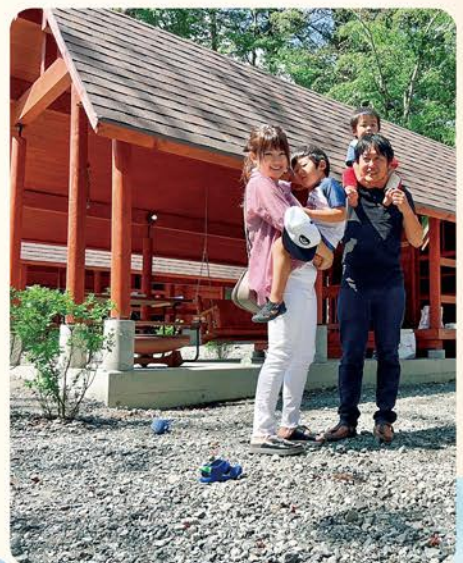
連載 施設長・管理者の リレーコラム

地域密着型複合福祉施設
ちた福寿園

管理者 川島 康通

9月初旬、子どもの友達家族と「キャンプ・アンド・キャビンズ山中湖」で子連れキャンプデビューをしました。このキャンプ場は、子どものための施設という事もあって、大きな池でスーパーボールすくいをしたり、ハンバーガー作りや、ビンゴ大会、焚火で焼きマッシュマロ作りなど盛り沢山のイベントがあり、1日中子どもたちは大興奮で、家族全員で自然を楽しむことができました。今回は、トイレ付きのバンガローに宿泊しましたが、子どもたちの成長と共にテントを設営し、家族でオートキャンプにも挑戦していきたいと思いました。

次号は、田原ゆのの里の今泉管理者にバトンを渡します。



令和6年11月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.178 12